

第2回北秋田地域医療構想調整会議 議事要旨

- 1 日 時 令和7年3月14日（金） 午後6時から午後8時まで
- 2 場 所 オンライン会議
- 3 出席委員 委員12名中9名出席（代理出席者を含む。）

氏 名	役 職 等	氏 名	役 職 等
野 口 博 生	大館北秋田医師会副会長	田 中 敬 午	特別養護老人ホーム青山荘施設長
相 澤 俊 朗	北秋田市民病院長	森 山 祐 行	北秋田市北部地域包括支援センター管理者
森 川 公 彦	大館北秋田歯科医師会監事	鈴 木 雅 昭	北秋田市健康福祉部医療健康課長
工 藤 智 子	秋田県薬剤師会大館北秋田支部監事	石 川 悦 子	上小阿仁村住民福祉課長
河 上 泰 幸	全国健康保険協会秋田支部企画総務部長		

4 議事等

(1)協議事項

① 外来医療計画の推進について

【事務局】

（資料により説明）

【北秋田市民病院長】

・紹介受診重点医療機関に関しては当院は該当しないので、そもそも考えたこともなかったが、たとえ該当したとしても当院はかかりつけ医の機能も持っているので、無理なのかなと思った。

【大館北秋田医師会副会長】

・共同利用に関しては病院にお願いしてやる事例が各診療所であったかと理解している。
・紹介受診重点病院に関しては、地域の全体的な患者数が少なくなっているところでもあり、やはり外来医療計画に関しては特に都市部の外来の抑制・調整が主な目的だと思うので、この地域に関してはなかなかそぐわないのかなと理解している。

②来年度以降の地域医療構想について

【事務局】

（資料により説明）

【北秋田市民病院長】

・今現在当院の地域医療の役割としては、高齢者救急・地域救急を何とか担っているかなと思っている。

- ・もし可能であれば来年度、調整会議に鷹巣病院の先生も参加してもらえれば精神科的なことも相談できるのかなと思っている。
- ・当院は、神経内科の確保も厳しくて、大学等にいろいろお願いに行くのだが、もし県の方でいいアイデアやこんな医師がいるという情報があれば教えていただければ助かる。

(2)報告事項

①地域医療構想に係る医療機関の対応方針について

【事務局】

(資料により説明)

※委員からの意見なし

②病床数適正化支援事業について

【事務局】

(資料により説明)

※委員からの意見なし

(3)その他

【島田アドバイザー】

- ・人口減少に伴って各地域で患者が減少しているほか、医師や看護師、看護補助者などが減ってきてなかなか採用が難しい状況になっている。
- ・医師が確保できないと、先ほども話が出ていた小児医療だとか出産だとか、あるいは精神科の医療だとかそういう医療機能の縮小にも繋がっていているのが各地域の現状かなと理解している。
- ・そういう中で、例えば機能分化とか連携を進めるという、地域医療連携推進法人の設立等にも繋がってはいるが、なかなかその地域で小児科の先生がいないとか、産婦人科の先生がいないとなると、連携しようにも地域内ではなかなか難しく、地域を超えた連携というものが必要になってきている状況かなと感じている。
- ・そういう中で、収支の悪化に関して言えば、コロナが終わっても入院患者が増えないという状況においては、将来的なところを見据えてやはり病床数の適正化というのはある程度必要なのかと感じている。
- ・これは各医療機関において検討していただいているとは思いますが、こういうものも利用しながら収支の改善を図っていくのも1つの方法かと思う。
- ・ぜひ地域の自主性を生かしながら、機能分化と連携を進めていただければと思う。